

愛知県感染症情報

AICHI Infectious Diseases Weekly Report

2016年49週 (12月1週 12/5 ~ 12/11)

2016年11月報

愛知県感染症情報センター (愛知県衛生研究所内)

<http://www.pref.aichi.jp/eiseiken/kansen.html>

E-mail: eiseiken@pref.aichi.lg.jp

連絡先: 052-910-5619 (企画情報部)

今週の内容

トピックス

感染性胃腸炎、インフルエンザ、集団かぜの発生、結核

定点医療機関コメント

インフルエンザ、感染性胃腸炎、マイコプラズマ感染症、RSウイルス感染症、咽頭結膜熱等

全数把握感染症発生状況 ()内は件数。

結核(29)、カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症(1)、侵襲性インフルエンザ菌感染症(1)、侵襲性肺炎球菌感染症(6)、水痘(入院例に限る。)(1)、梅毒(3)

2016年11月報

定点把握感染症報告数 (保健所別、年齢別) 「グラフ総覧」は <http://www.pref.aichi.jp/eiseiken/2f/graph.pdf>

トピックス

感染性胃腸炎(図1)【12月14日警報発令】

49週の定点当たり報告数は20.41と警報レベル(定点あたり20)を超えたため、愛知県は警報を発令しました。48週3,210人、49週3,714人(1.16倍)です。

【参考ページ】

“感染性胃腸炎”警報を発令します!! (12月14日発表)

<http://www.pref.aichi.jp/soshiki/kenkotaisaku/kanssens eiityouen28keiho.html>

豊橋市: 感染性胃腸炎が流行しています(11月21日発表)

<http://www.city.toyohashi.lg.jp/secure/46046/H28iityouen.pdf>

疾患別ウイルス検出状況

<http://www.pref.aichi.jp/eiseiken/67f/prompt.html>

ノロウイルス等検出速報(国立感染症研究所)

<http://www.nih.go.jp/niid/ja/iasr-noro.html>

インフルエンザ(図2)【11月30日注意報発令】

清須保健所の定点当たり報告数が注意報レベル10を上回っています。49週の定点当たり報告数は2.56、48週376人、49週500人です。2016/2017シーズンに病原体定点等から寄せられた検体よりA型(AH3、AH1pdm09)インフルエンザウイルスが検出されています。

【参考ページ】

“インフルエンザ注意報”を発令します! (11月30日発表)

<http://www.pref.aichi.jp/soshiki/kenkotaisaku/28influchuihou.html>

豊田市: インフルエンザの流行に注意してください(11月30日発表)

<http://www.city.toyota.aichi.jp/pressrelease/1016472/1016887.html>

集団かぜによる学級閉鎖等の状況(名古屋市)

<http://www.city.nagoya.jp/kurashi/category/15-7-3-3-11-0-0-0-0-0.html>

保健所別・定点医療機関当たりのインフルエンザ報告数マップ

http://www.pref.aichi.jp/eiseiken/2f/influ_map_new.html

インフルエンザ情報ポータルサイト(愛知県) <http://www.pref.aichi.jp/kenkotaisaku/influ/index.html>

<注目すべき感染症>インフルエンザ(感染症発生動向調査週報/国立感染症研究所感染症疫学センター)

<http://www0.nih.go.jp/niid/idsc/idwr/IDWR2016/idwr2016-45.pdf>

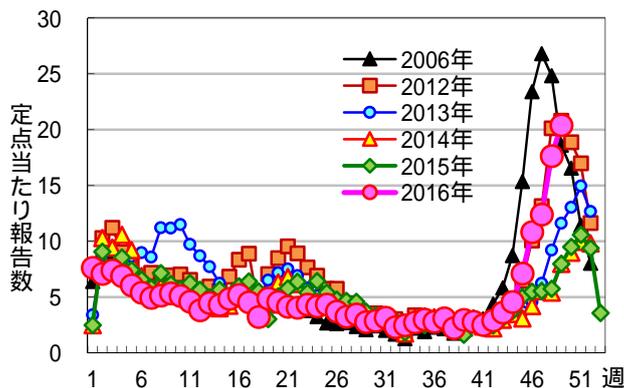


図1 感染性胃腸炎

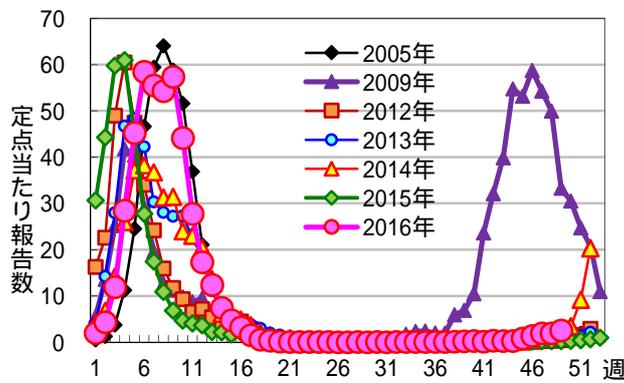


図2 インフルエンザ

集団かぜの発生(健康対策課発表)

発表日	管轄保健所	ネットあいち URL
12月8日	津島	集団かぜの発生について(2016-2017シーズン) http://www.pref.aichi.jp/kenkotaisaku/influ/syudankaze2.html http://www.pref.aichi.jp/kenkotaisaku/influ/ichiran.pdf
12月12日	瀬戸、知多	
12月13日	瀬戸、半田、清須	

結核(P.6, 11月報参照)

2016年49週までに診断された累積報告数は、12月14日現在1,643件(うち無症状病原体保有者は422件)です。2015年49週までの累積報告数は1,571件(同435件)、2015年総計は1,683件(同463件)で、2014年総計1,867件(同529件)から184件減少しました。

【参考ページ】結核に関する特定感染症予防指針の一部改正について(厚生労働省)

<http://www.mhlw.go.jp/file/06-Seisakujouhou-10900000-Kenkoukyoku/thuuchi.pdf>

定点医療機関コメント(名古屋市除く)

尾張西部地区

マイコプラズマ肺炎 10歳女
【一宮市 あさのこどもクリニック】

感染性胃腸炎が増加
【一宮市 後藤小児科医院】

インフルエンザA型 1名
感染性胃腸炎依然多いです。

【稲沢市 こどものお医者さんおがわクリニック】

インフルエンザA 4名
感染性胃腸炎急増しています。

手足口病 2名
【江南市 みやぐちこどもクリニック】

溶連菌感染症増えています。

Adeno 散発

今週はインフルエンザはありません。

【岩倉市 医療法人なかよしこどもクリニック】

インフルエンザA 13名
【北名古屋市 田中クリニック】

6歳女 病原大腸菌O86a 検出

インフルエンザA型 1名

インフルエンザB型 1名

胃腸かぜ多発して居ります。

【清須市 丹羽医院】

インフルエンザA型 2名 27歳男 21歳女

【津島市 医療法人参育会加藤医院】

インフルエンザA型 3名

【あま市 医療法人村上医院】

インフルA 7名

【弥富市 医療法人すずきこどもクリニック】

尾張東部地区

発熱、嘔吐、下痢(胃腸風邪)急増しました。

水痘 2名

5歳女 ワクチン2回接種 極めて軽症

8歳女 ワクチン未接種

その他目立った感染症なし。

【尾張旭市 医療法人誠和会佐伯小児科医院】

インフルエンザA型 0例

インフルエンザB型 0例

【長久手市 医療法人水野内科】

胃腸かぜが流行っています。

【日進市 みやがわクリニック】

マイコプラズマ 7歳女

【東郷町 ごとうこどもクリニック】

RSVはピークをこえたようです。

ADVが流行中です。

fluaがERで出ました。

【春日井市 春日井市民病院】

12歳女 7歳男 マイコプラズマ

7歳女 カンピロバクター腸炎(鳥、馬生食)

胃腸炎多数

インフルA型でできました。

【春日井市 朝宮こどもクリニック】

感染性腸炎が続いています。

インフルエンザはA型3例、B型1例でした。

【小牧市 志水こどもクリニック】

インフルエンザA型 5歳男1名、女1名あり。

【小牧市 医療法人心正会鈴木小児科】

感染性胃腸炎大流行

A型インフルエンザ 1名

【南知多町 医療法人大岩医院】

6か月男 1歳3か月男 RSウイルス

マイコプラズマ 4名

溶連菌感染症流行中

【大府市 まえはらこどもクリニック】

感染性胃腸炎流行中です。

アデノウイルス感染症 4名

RSウイルス感染症 4名(1か月~1歳)

マイコプラズマ感染症 1名(7歳)

【東海市 もしもしこどもクリニック】

西三河地区

RSV(+) 4名
インフルエンザA(+) 2名
E.coli(O25) 1歳男 5歳女
【豊田市 星ヶ丘たなかこどもクリニック】
インフルA型 4名
マイコプラズマ核酸 10歳女
【豊田市 すくすくこどもクリニック】
インフルエンザ陽性A型 9名
【豊田市 愛知県厚生農業協同組合連合会足助病院】
インフルA 3歳男 8歳男
マイコプラズマ 女
【岡崎市 にいのみ小児科】
ウイルス性胃腸炎多数
インフルエンザはA型1例のみ
【岡崎市 花田こどもクリニック】
インフルエンザA型 1名
【岡崎市 医療法人永坂内科医院】
マイコプラズマ肺炎
6歳男 12歳男 8歳男 8歳女
【岡崎市 医療法人川島小児科水野医院】

インフルエンザA型 1名
【岡崎市 医療法人志貴こどもクリニック】
感染性腸炎目立ちます。
手足口病散見されます。
A型インフルエンザ感染症 2例
マイコプラズマ肺炎 2名
【岡崎市 竜美ヶ丘小児科】
インフルエンザA型 1名
感染性胃腸炎 104名
【知立市 宮谷クリニック】
インフルエンザA型 7名
【安城市 愛知県厚生農業協同組合連合会安城更生病院】
インフルエンザA型 3名
【西尾市 西尾市民病院】
感染性胃腸炎、依然として流行しています。
【西尾市 山岸クリニック】
マイコプラズマ感染症 5歳男
【幸田町 とみた小児科】

東三河地区

感染性胃腸炎が流行中です。
RSウイルス感染症が時々います。
【豊橋市 医療法人こどもの国大谷小児科】
65歳女 インフルエンザA型 1名
【豊橋市 医療法人山本内科】
インフルエンザA型 4名
【豊橋市 医療法人杉浦内科】
インフルエンザA型 5名
33歳男 54歳男 58歳女 78歳女 85歳男
【豊橋市 医療法人羽柴クリニック】

インフルエンザA型 5名
【豊川市 豊川市民病院】
マイコプラズマ感染症 2名
【豊川市 ささき小児科】
インフルエンザはA型でした。
【豊川市 総合青山病院】
アデノウイルス 2名
サルモネラO4 1名
インフルエンザ 8名
【蒲郡市 畑川クリニック】

全数把握感染症発生状況（愛知県全体・保健所受理週別）2016年12月14日現在

一～三類感染症

<関連リンク> 届出基準 <http://www.pref.aichi.jp/eiseiken/2f/todokedekijun161121.pdf>

結核（二類感染症）

報告保健所	2016年49週報告数			2016年総計(1～49週)		
	総数	喀痰塗抹検査 陽性者数再掲	無症状病原体 保有者再掲	総数	喀痰塗抹検査 陽性者数再掲	無症状病原体 保有者再掲
名古屋市(16保健所合計)	14	8	3	618	157	146
豊田市				66	18	15
豊橋市				69	14	30
岡崎市				52	21	12
一宮	1	1		129	46	28
瀬戸	4		1	111	18	34
半田				54	16	22
春日井	2	2		99	18	27
豊川				46	12	9
津島	2	1		100	14	36
西尾				23	6	4
江南				45	8	7
新城				13	6	6
知多				74	22	20
清須	1			36	16	6
衣浦東部	5	2	1	109	19	20
合計	29	14	5	1,644	411	422

四類・五類感染症（全数把握）（推定感染経路、推定感染地域は確定も含む）

カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症（五類感染症）

番号	報告保健所	年齢	性別	推定感染経路	推定感染地域	90日以内の海外渡航歴
1	名古屋市	78歳	男	不明	国内	無

侵襲性インフルエンザ菌感染症（五類感染症）

番号	報告保健所	年齢	性別	予防接種歴	推定感染地域
1	名古屋市	89歳	女	不明	国内

侵襲性肺炎球菌感染症（五類感染症）

番号	報告保健所	年齢	性別	予防接種歴	推定感染地域
1	名古屋市	89歳	男	不明	国内
2	岡崎市	83歳	男	不明	国内
3	一宮	40歳	男	不明	国内
4	一宮	87歳	女	不明	国内
5	知多	94歳	女	有	国内
6	知多	90歳	男	不明	不明

水痘（入院例に限る。）（五類感染症）

番号	報告保健所	年齢	性別	予防接種歴	推定感染地域
1	名古屋市	9歳	男	無	国内

梅毒（五類感染症）

番号	報告保健所	年齢	性別	病型	推定感染経路	推定感染地域
1	名古屋市	30歳	女	無症候	性的接触	国内
2	名古屋市	34歳	男	早期顕症	性的接触	国内
3	江南	48歳	男	早期顕症	性的接触	国内

11月の一～五類感染症(全数把握対象)発生状況〔()は無症状病原体保有者再掲〕

2015～2016年に報告のあった 疾病名及び病型 ()内は全数把握対象疾病数	2016年11月			2016年	2015年
	愛知県 (名古屋を除く)	名古屋市	愛知県全体	累計 <愛知県全体>	総計 <愛知県全体>
一類 (7) 発生報告なし	0	0	0	0	0
二類 (7) 結核	76 (11)	50 (10)	126 (21)	1,613 (414)	1,683 (463)
三類 (5) コレラ	0 (0)	0 (0)	0 (0)	1 (0)	0 (0)
細菌性赤痢	0 (0)	2 (1)	2 (1)	9 (2)	6 (1)
腸管出血性大腸菌感染症	17 (12)	2 (1)	19 (13)	153 (50)	98 (21)
腸チフス	0 (0)	0 (0)	0 (0)	12 (2)	2 (0)
四類 (44) E型肝炎	0	1	1	5	8
A型肝炎	1	0	1	5	10
オウム病	0	0	0	1	0
コクシジオイデス症	0	0	0	0	1
ジカウイルス感染症*	0	0	0	2	-
チクングニア熱	0	0	0	3	0
つつが虫病	2	0	2	2	2
デング熱	0	0	0	19	17
日本紅斑熱	0	0	0	1	0
マラリア	0	0	0	1	1
ライム病	0	0	0	0	1
レジオネラ症	10	2	12	90	99
五類 (22) アメーバ赤痢	1	3	4	59	66
ウイルス性肝炎	0	0	0	5	15
内訳					
B型	0	0	0	4	10
その他	0	0	0	1	5
カルバペネム耐性 腸内細菌科細菌感染症	6	3	9	71	80
急性脳炎	0	0	0	36	27
クリプトスポリジウム症	0	0	0	0	1
クロイツフェルト・ヤコブ病	0	0	0	11	8
劇症型溶血性レンサ球菌感染症	1	1	2	24	16
後天性免疫不全症候群	1	0	1	90	107
内訳					
無症候性キャリア	1	0	1	56	60
AIDS	0	0	0	31	43
その他	0	0	0	3	4
ジアルジア症	0	0	0	1	4
侵襲性インフルエンザ菌感染症	0	2	2	22	15
侵襲性髄膜炎菌感染症	0	0	0	6	0
侵襲性肺炎球菌感染症	14	7	21	142	161
水痘(入院例に限る。)	0	0	0	10	17
梅毒	9	11	20	235	122
内訳					
無症候	2	1	3	58	43
早期顕症	7	10	17	169	71
晩期顕症	0	0	0	8	7
先天梅毒	0	0	0	0	1
播種性クリプトコックス症	0	0	0	11	10
破傷風	0	1	1	5	8
風しん	0	0	0	20	13
麻しん	0	0	0	5	0
薬剤耐性 アシネトバクター感染症	0	0	0	2	0
総計	138	85	223	2,672	2,598

* 2016年2月15日に「ジカウイルス感染症」が四類感染症に追加されました。

五類感染症(月報定点把握対象)発生状況

	疾病名	2016年11月			2016年 累計		2015年 総計		
		愛知県 <名古屋市除く>	名古屋市	愛知県 全体	愛知県全体		愛知県全体		
					合計	合計			
性 感 染 症 定 点	性器クラミジア感染症	男	35	42	77	844	1,449	855	1,501
		女	42	17	59	605		646	
	性器ヘルペスウイルス感染症	男	7	11	18	218	583	224	601
		女	14	18	32	365		377	
	尖圭コンジローマ	男	11	10	21	191	292	217	328
		女	10	2	12	101		111	
淋菌感染症	男	15	32	47	451	518	489	565	
	女	3	4	7	67		76		
基 幹 定 点	メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症		65	14	79	866		1,006	
	ペニシリン耐性肺炎球菌感染症		6	0	6	89		92	
	薬剤耐性緑膿菌感染症		0	0	0	0		1	

感染症の類型及び定義(感染症法)

2016年11月21日現在

類型	定義
一類感染症 (7疾病)	感染力、罹患した場合の重篤性等に基づく総合的な観点からみた危険性が極めて高い感染症。患者、疑似症患者及び無症状病原体保有者について入院等の措置を講ずることが必要。
二類感染症* (7疾病)	感染力、罹患した場合の重篤性等に基づく総合的な観点からみた危険性が高い感染症。患者及び一部の疑似症患者について入院等の措置を講ずることが必要。
三類感染症 (5疾病)	感染力及び罹患した場合の重篤性等に基づく総合的な観点からみた危険性は高くないが、特定の職業への就業によって感染症の集団発生を起こしうる感染症。患者及び無症状病原体保有者について就業制限等の措置を講ずることが必要。
四類感染症** (44疾病)	動物、飲食物等の物件を介して人に感染し、国民の健康に影響を与えるおそれがある感染症(人から人への伝染はない。媒介動物の輸入規制、消毒、物件の廃棄等の物的措置が必要。)
五類感染症 (47疾病)	国が感染症の発生動向の調査を行い、その結果等に基づいて必要な情報を国民一般や医療関係者に情報提供・公開していくことによって、発生・まん延を防止すべき感染症。
新型インフルエンザ等感染症 (2疾病)	インフルエンザのうち当該感染症に対する免疫を獲得していないことから、生命及び健康に重大な影響を与えるおそれのあるもの。新型インフルエンザ(新たに人から人に伝染する能力を獲得したウイルスによるもの)及び再興型インフルエンザ(かつて世界規模で流行したウイルスによるもの)が平成20年5月12日に指定された。
指定感染症	既知の感染症(一～三類及び新型インフルエンザ等感染症を除く)のうち、一～三類感染症と同程度の危険性を有し、それらに準じた措置を実施しなければ、国民の生命及び健康に重大な影響を与えるおそれがあるもの。一年間に限定した指定。
新感染症	人から人に伝染すると認められる疾病であって、既に知られている感染性の疾病とその病状又は治療の結果が明らかに異なるもので、当該疾病にかかった場合の病状の程度が重篤であり、かつ、当該疾病のまん延により国民の生命及び健康に重大な影響を与えるおそれがあると認められるもの。

* 2015年1月21日に「中東呼吸器症候群(病原体がベータコロナウイルス属MERSコロナウイルスであるものに限る。)」及び「鳥インフルエンザ(H7N9)」が二類感染症に追加されました。

** 2016年2月15日に「ジカウイルス感染症」が四類感染症に追加されました。

